

筑波研究学園都市の国立研究施設を視察

最先端技術が生み出される現場へ

原田研究員に講演いただいた
地域産業活性化セミナー

独立
行政法
人物質
・材料
研究機
構の特
命研究
員で、

当市出身の原田広史氏を講師
にお迎えし、昨年10月に開催
した地域産業活性化セミナー
には、市内の企業関係者やも
のづくりをめざす高校生ら多
くの受講者が参加しましたが、
その原田研究員とサイクスと
のつながりによって、このほ
ど茨城県つくば市にある国立
研究機関を視察する機会を得
ることができました。

この視察では、普段は立ち
入ることが難しい最先端技術
の研究開発現場などを見学す
ることもでき、自社が抱える
技術課題の解決策や、新たな
事業展開を模索するヒントを
得ようと考える市内の6企業
の代表者らが参加しました。

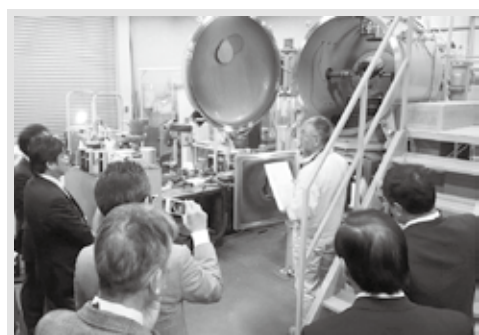


(独)物質・材料研究機構

原田
研究員
が所属
している
(独)物
質・材
料研究
機構で
は、物
質や材
料に関

■視察を行った施設1 (独)物質・材料研究機構

■筑波研究学園都市とは
東京都内に多数存在した国
の試験研究機関などを移転す
ることで、東京の過密緩和と
高水準の研究・教育を行う拠
点づくりを目的に、昭和38年、
筑波研究学園都市の建設が始
まりました。現在では人口約
21万人を数え、集積した官民
多数の研究機関に約1万3千
人もの研究者が従事する、世
界でも有数の研究開発拠点が
形成されています。



原田研究員が属する超耐熱合金の研究開発室を見学

この機構では、原田研究員
らを取り組む超耐熱合金の研
究開発や、リニアモーターカ
ーや医療用MRI装置などで
使用される超伝導物質の研究
開発、さらにはノートパソコン
や携帯電話のバッテリーに
使用されているリチウムイオ
ン電池を不燃性セラミックスで

造る全固体リチウムイオン電
池の研究開発現場などを視察
しました。

■視察を行った施設2

(独)産業技術総合研究所

全国9カ所に研究拠点を持
つ国内最大級の研究機関であ
る(独)産業技術総合研究所。
保有する豊富なデータや研
究成果を活用し、技術相談や
共同・受託研究、知的財産権

のライセンス付与などにより、
産業界からのニーズに的確に
応える体制が整えられていま
す。



(独)産業技術総合研究所

自動車
や航空
機など
の幅広
い分野
で使用
されて
いる炭
素繊維
強化プ
ラスチ

■視察を行ったことによる成果

今回の視察によって、中央
の研究機関と市内企業やサイ
クスとの、ダイレクトな人脈
や公的なコネクションが築け
たことは、今後に向けて大変
大きな成果となりました。
視察に参加した企業の中に
は、原田研究員から材料の提
供を受け、自社の技術力向上
をめざし超耐熱合金の切削加
工に挑戦する企業や、(独)産業
技術総合研究所と連携し新た
な事業展開を検討する企業が
現れるなど、この視察を契機
にして既に新たな取り組みが
始まっているのです。



レーザー複合マイクロ加工技術の研究開発室も見学